

## 一学期終業式 式辞（抜粋）

夏休みに向けて、3冊の本を紹介します。

もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら

新人マネージャーと都立の進学校の野球部の仲間たちが経営学の父「ドラッカー」の「マネジメント」を読んで甲子園を目指す青春小説。

本書は、野球部を題材にした「マネジメント」の入門書である。ドラッカーがマネジメント（組織論）について書き記した一文一文の意味を読み取り、それを具体的にどう実践するのか知ることができる。非常にわかりやすいストーリーでありながら、「マネジメントとは何か」を理解することができる。

タイトルを少し紹介すると、第1章「みなみはマネジメントに出会った」第3章「みなみはマーケティングに取り組んだ」第6章「みなみはイノベーションに取り組んだ」

はたして、ドラッカー理論で改革された都立進学校の野球部は甲子園に行くことができるのだろうか？

「幸せスイッチ」が入る！+1%の法則 ちょっとのプラスでなりたい自分になれる！

**はげま詩（抜粋）**：思い出しながら書いているのであちこち抜けているかも・・・

おはようと言ってみた。

何の返事も返ってこなかった。

一日いやな気分だった。

翌朝、向こうからおはようといわれた。

なんだか一日良い気分だった。

その翌朝、今度はどちらともなく「おはよう」と言い合えた。

少し立ち話をした。それから毎日話すようになった。

おはようという小さな言葉がきっかけで友達が一人できた。

**気持ちはすぐには伝わらない。けれど、気持ちは必ず伝わる。**

昔、母親に聴いた話である。（イソップ童話だったかな？）

カエルが川で泳いでいた。

ある日、近所の子供たちが川に遊びに来て、カエルを見つけ、一人の子供が石を投げた。

一緒に遊びに来ていた友達も投げ始め、誰が当てるか競走になった。

その時、カエルがすっと立って叫んだ。

「やめてください。あなたたちにとっては、ほんの遊びでも、私にとっては命がけです」

何が原因だったか忘れたが、鬼のように怒った後に、この話をした時の母親の悲しそうな顔を忘れられない。

夏休みはじっくりと読書ができる期間です。部活の合宿や読書も計画に入れて有意義な夏休みになることを願って、一学期の式辞とします。